

## 改定 PDF 版ポイントの解説

### 1.改定の目的

- ①「2050年カーボンニュートラル」が国の目標となり、省エネ基準はもちろん、ZEH等の一層の普及が求められることから、ご紹介する断熱水準レベルとして「更なる強化外皮基準（ZEHプラス選択要件）」を設定しました。
- ②ご紹介する断熱工法について、6地域編の第1版では「充填断熱工法」だけでしたが、「外張断熱工法」と「付加断熱工法」を追加しました。

### 2.お勧め建材ガイドシリーズのタイトル変更について

- ①これまで本シリーズのタイトルを『H28年省エネ基準を満たすためのお勧め建材ガイド』としてきましたが、今回の改定より『外皮性能別 お勧め建材ガイド』に変更しました。
- ②6地域編のサブタイトルに目標となる断熱水準を明記することとし、<外皮6地域編 目標 U<sub>A</sub>0.87/0.60/0.50>に変更しました。U<sub>A</sub>0.87は「H28年省エネ基準」、0.60は強化外皮基準（ZEH基準）、0.50は「更なる強化外皮基準（ZEHプラス選択要件）」となります。

### 3.断熱水準レベルについて

- ①第1版では、レベルI「省エネ基準」、レベルII「レベルIとIIIの中間」、レベルIII「ZEH基準」としていました。
- ②今回の改定ではレベルIIを排し、レベル1「省エネ基準」、レベル2「強化外皮基準（ZEH基準）」、レベル3「更なる強化外皮基準（ZEHプラス選択要件）」としました。

### 4.断熱工法について

- ①レベル1, 2は充填断熱工法および外張断熱工法を、レベル3は開口部強化型（充填断熱工法、外張断熱工法）と躯体強化型（付加断熱工法）としています。

### 5.推奨部品について

- ①レベルに応じて断熱仕様を設定し、その仕様に対応するkkj会員各社の具体的な環境共生住宅推奨部品を提示していますので、そのまま実際の設計業務にお役立ていただけます。

### 6.新基準に対応した「お勧め建材ガイド」について

- ①令和3年3月31日時点の省エネ基準は1年間の猶予期間があることから、本PDF版はその基準に準拠して構成されています。
- ②開口部の熱貫流率の扱い等が変更された、令和3年4月1日施行の新基準に対応した「お勧め建材ガイド」については、令和3年10月に冊子版として発行予定です。
- ③新基準に対応した他地域の「お勧め建材ガイド」も順次発行してまいります。